



～私と誰かの笑顔につながる～ エシカルなお買い物

持続可能な世界のために、おかやまコープでは「地域・社会・環境・人々」の4つの視点ですすめています。



地域 Community

豊かな地域

コープの産直



「産直」の実現によって、岡山県内の畜産農家や酪農家を買い支えることができ、安定供給につながります。

おかやま育ち



主要原材料に岡山県産の農水畜産物を使い、おかやまコープおよびコープCSネットが開発した商品と県内商品。開発、普及に取り組んでいます。

社会 Society

公正な社会のしくみ

CO・OPコアノン スマイルスクールプロジェクト

利用1点に対し1円を積み立て、ユニセフを通じてアンゴラ共和国で「子どもにやさしい学校づくり」を支援するために使われます。



CO・OP×レッドカップキャンペーン

利用1点に対し1円が、国連WFP協会に寄付され、ミャンマー連邦共和国の子どもたちに学校給食を届けるために使われます。



※対象商品はコープブランドなど

環境 Environment

「環境」を守り続ける

もずく基金

対象商品1点の利用に対し宅配は2円、店舗は1円を積み立て、沖縄県恩納村のサンゴ礁再生事業に役立っています。



※対象商品は恩納村産もずく

せとうち里海再生支援基金

「コープ地域づくり協働基金」から拠出し、瀬戸内の豊かな里海を育てる活動(アマモ場再生活動)を支えます。

「コープ地域づくり協働基金」

おかやま育ち商品ご利用1点につき、0.2円が積み立てられます。だれもが安心して暮らせる地域社会づくりをめざし、地域の課題に取り組む活動をすすめています。

人々 People

人々の「生きる」を支える

ピンクリボン運動

コープ化粧品1点につき1円をJ.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)に寄付、乳がんに対する啓発活動や患者や家族の支援をすすめています。



※対象商品はコープ化粧品

障害者ノルディックスキー応援キャンペーン

対象商品1点につき1円が、日本障害者スキー連盟ノルディックスキーチームの次世代を担うジュニアチームに寄付されます。



※対象商品はコープ応援食クッキー各種

2024年5月末時点

おかやまコープReport

OKAYAMA COOP REPORT



想いがつながる
笑顔あふれる
くらしと未来

「おかやまコープの環境・サステナビリティ政策」を2021年に策定し、脱炭素・循環型社会・自然共生社会の実現に向けて取り組みをすすめています。

● 宅配では紙飲料パックなどを回収し、その後ノンロール等の原料に活用しています。



● 店舗ではエコトレー商品やノントレー商品の利用を促進しています。



● 真庭市の完全再生エネルギー発電施設の「真庭バイオマス発電」と、再生可能エネルギーの調達・供給を中心とした日本生協連の子会社「地球クラブ」から電力供給を受けています。



おかやまコープの最新情報はこちらから!

◎ おかやまコープメールニュース

事業や活動のお知らせを毎月お届けいたします。

配信をご希望の方はこちらから
※登録したアドレスに確認メールが届きます。



◎ おかやまコープ公式Instagram

事業や活動、商品に関する情報などをタイムリーに配信しています。

こちらから



生活協同組合おかやまコープ。

(2024年6月発行)

おかやまコープの理念

思いやりのこころでつなぐ人間らしいゆとりのあるくらしの創造
 参加・自主・自立で学び成長する多数者組織の実現
 協同と連帯がはぐくむ組織と地域社会の発展

おかやまコープのビジョン

想いがつながる 笑顔あふれるくらしと未来

- 生涯にわたる心ゆたかなくらし
- 安心して暮らし続けられる地域社会
- 誰一人取り残さない、持続可能な世界・日本
- 組合員と生協で働く誰もが生き活きと輝く生協
- より多くの人々がつながる生協



おかやまコープは、ビジョンの取り組みを通して、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献します。

「おかやまコープのビジョン」と国連で採択された「SDGs」は重なり合うものがたくさんあります。「日本の生協の2030年ビジョン」に沿って策定した「おかやまコープ第15次中期計画」に基づいて、おかやまコープのビジョンで掲げた16のテーマのありたい姿を追求していくとともに、SDGsやエシカル消費への理解や共感を社会に広げます。

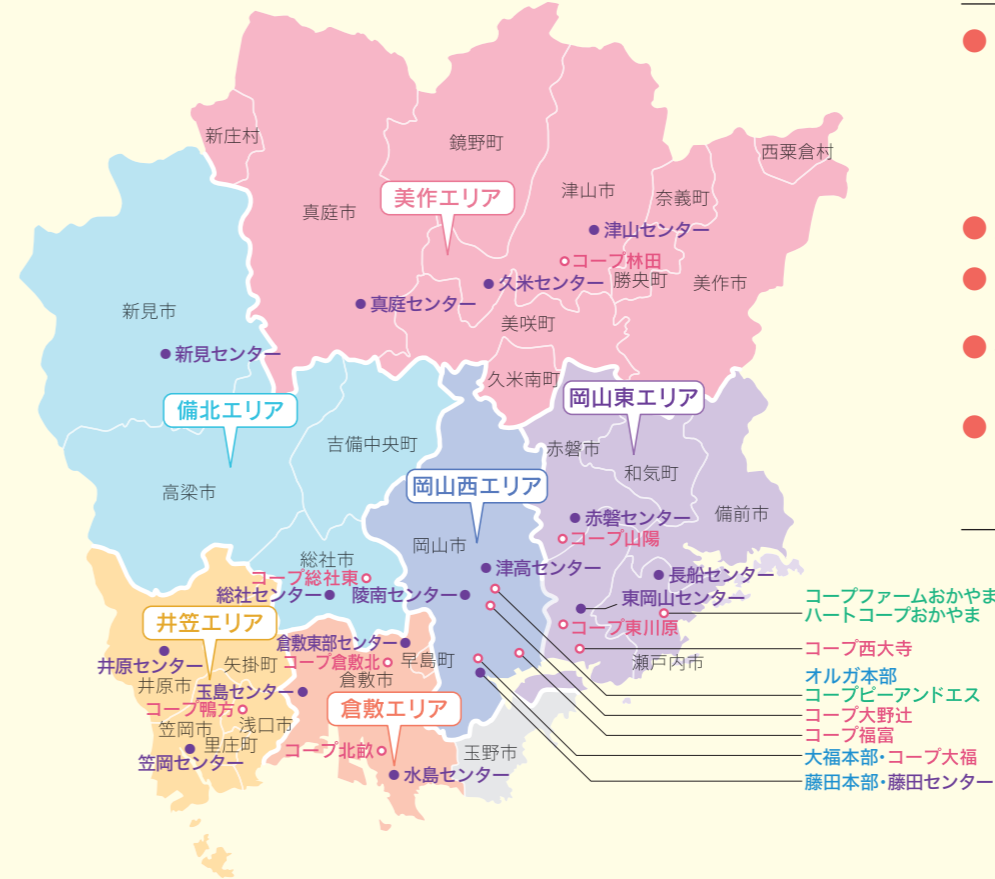
日本の生協の2030年ビジョン



持続可能な開発目標 SDGs



おかやまコープの事業所



事業内容

- 宅配事業 16センター
 有人コープステーション 15カ所
 (岡山市7、倉敷市3、津山市1、井原市1、総社市1、瀬戸内市1、赤磐市1)
- 店舗事業 11店舗
- 共済事業 CO・OP共済
- 福祉事業 居宅介護支援、訪問介護、デイサービス 5施設
- 子会社 コープピーアンドエス、コープファームおかやま、ハートコープおかやま

組合員

岡山県内 約34万世帯

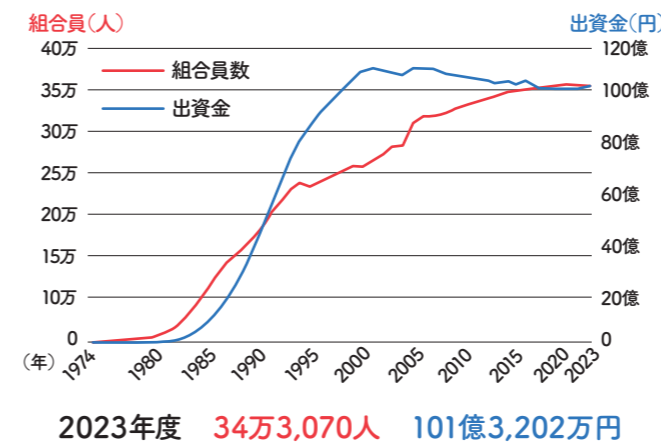
県の4割の世帯が加入しています。



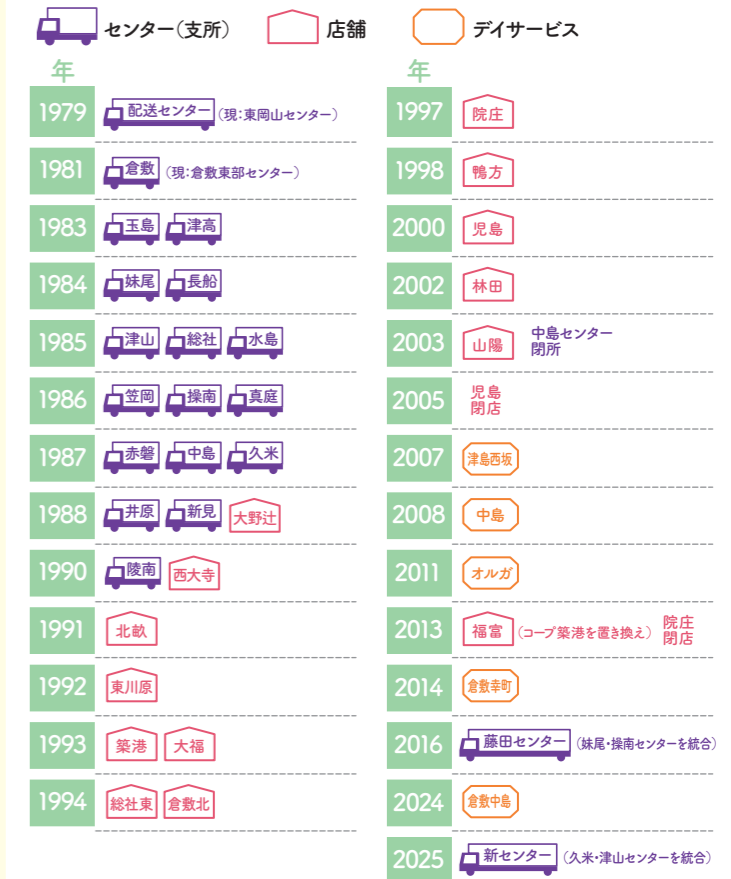
2024年5月末時点

データで見るおかやまコープの50年

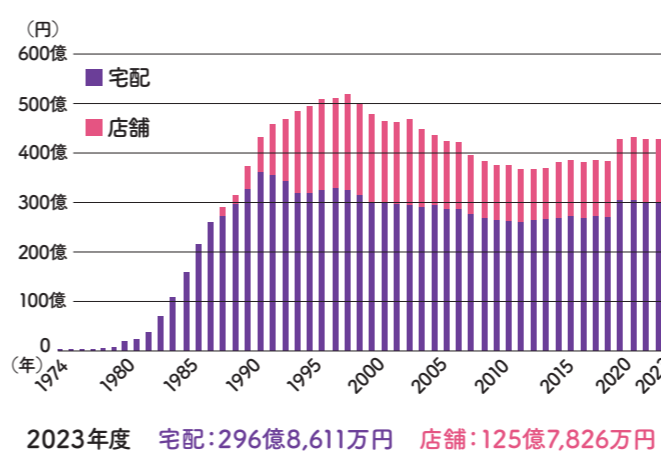
● 組合員数と出資金の推移



● 施設の開設や統合など



● 供給高の推移



有人コープステーション

2016年: 南方・総社 2017年: 富山・衆楽園・桜が丘・邑久・連島 2018年: 上中野
 2019年: 新福・今・関 2020年: 井原・中庄・庭瀬駅前 2021年: 茶屋町



I 生涯にわたる心ゆたかな暮らし

「たすけあいの組織」である協同組合として、宅配、店舗、福祉、子育て、夕食宅配や生活支援サービスなど、事業ネットワークの連携により、食を中心に一人ひとりの暮らしに役立ちを高め、誰もが生涯を通じて利用できる事業を目指します。

宅配

毎週決まった場所にお届けしています。中山間地域にもくまなく配達しており、買い物の不便な地域への買い物支援にもつながっています。個配・班配や夕食宅配弁当「たべてん便」では、地域の見守りの役割も果たしています。



班配

Play back!



班配商品が個人別にセットされる前は班で商品を分けていました。

店舗

ふだんの暮らしに欠かせない商品、安全・安心のコープ商品や産直商品、新鮮でお買い得な商品を品揃えています。1997年からレジでの買い物袋の無料配布を中止し、マイバッグ持参運動をすすめてきました。



コープ大野辻

Play back!



1号店(コープ大野辻)建設予定地で行われた「地固めまつり」(1987年)

おかやま育ち商品

生産者と協力して地産地消をすすめる、食料自給率の向上や地域経済の活性化、環境保全につながる取り組みを応援しています。岡山県産農水畜産物とそれを主原料とした「おかやま育ち商品」の開発・普及を行っています。



Play back!



「おかやま育ち商品」第1号は「COOP朝日米を使ったあびピラフ」(1997年)

左：発売時
右：現在(日本生協連コープ商品として中国5県で供給)

共済

助け合いの気持ちを「かたち」にしたコープ共済は、多くの組合員に支持され、保有件数18万件を超えました。



共済カウンター(コープ西大寺)

福祉

岡山市・倉敷市で居宅介護支援と訪問介護、デイサービス事業を展開し、利用者の立場に立ったサービスを提供しています。



デイサービス・オルガ

II 安心して暮らし続けられる地域社会

地域の多様な人々や行政、諸団体とのつながりを大切に、安心してらせる地域ネットワークの一翼を担います。

地域の再生につながる地域社会づくりへの参加

里山を守り 里海を育てる取り組み

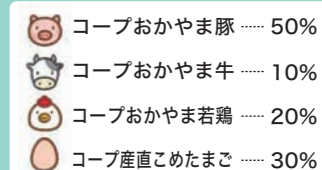
多様な生き物が命を育む「アマモ場」の再生活動を応援し、里海を育てる活動に参加しています。また、農業体験などの活動を通して里山の環境保全にも取り組んでいます。



アマモ場再生活動

食料自給率向上、循環型農業応援

飼料用米・飼料用稲の使用を通じた食料自給率の向上や、県内の耕畜連携による循環型農業の応援を行っています。



2024年5月末時点

エサに含まれる飼料用米の割合

活動を通してすすめる地域社会づくりへの参加

暮らしを支え合う活動

生活支援サービスには、月平均300件を超える相談が寄せられています。組合員によるたすけあいの活動「は〜と♡ふるネット」は、新見市と早島町で総合事業を受託しています。



は〜と♡ふるネットの活動

子育てを応援する活動

地域の親子が気軽に立ち寄り交流する場として、店舗の会議室を会場として「子育てひろば」を開催しています。



子育てひろば

行政や諸団体とのネットワークによる地域社会づくりへの参加

望ましい食生活を目指す活動

食生活を考えるきっかけとなる「食習慣チェック」や、幼稚園や小学校に向かい行う「出前授業」など、食育の取り組みを行っています。



たべる・たいせつ出前授業

買い物が困難な方を地域で支える活動

高齢者や障がいのある方など買い物が困難な方に対して、自治体と協力し宅配の仕組みを利用して商品を届けています。



和気町との「買い物困難者に対する連携協力に関する協定」締結式(2024年3月)

子ども食堂への支援

社会福祉協議会やNPO法人と協働して、岡山県内119カ所(2023年度)の「子ども食堂」や「子どもの居場所づくり」に取り組む団体に食品を提供しました。



「おかやまコープの子ども食堂応援」食品贈呈式

防災・減災への取り組み

防災・減災の学習会の開催のほか、自治体や社会福祉協議会が行う防災訓練にも参加しています。



笠岡市の防災訓練に参加

Ⅲ 誰一人取り残さない、持続可能な世界・日本

誰もが認め合い、平和でくらしやすい社会を多様な人々と協力して実現します。

核兵器廃絶・平和を願う活動

核兵器廃絶を目指し、被爆者の会や平和を願う市民と共に、学習会の開催や署名運動などに取り組んでいます。



平和のひろば2023

被災地支援活動

全国の生協とともに、被災地に寄り添い、必要とされる支援を行います。令和6年能登半島地震では、緊急募金の呼びかけや職員の派遣支援などを実施しました。



令和6年能登半島地震緊急支援募金 (コープ北畝)

国際協力支援活動

ユニセフ、特定非営利活動法人AMDA(アマダ)を支援しています。両団体に対して寄せられた組合員からの募金は、国内外での活動に役立てられています。



AMDAへの支援金贈呈

くらしを守る活動

消費者被害に関する学習会や、保障に関する個人相談などを行っています。適格消費者団体「消費者ネットおかやま」に参画しています。



岡山県消費者大会

ゴミ削減・リサイクル

宅配・店舗で、カタログ・チラシや食品トレー・ペットボトルなどを回収しています。また、店舗ではノントレー商品(トレーを省いた商品)を品揃えています。



店舗リサイクルコーナー

環境に配慮したくらし方の学習

自治体や諸団体と協力し、環境について学び考える企画を開催しています。



自治体等と協同で開催された海ごみ回収企画に参加(2023年5月:瀬戸内市)

食品ロスの削減

フードバンクへの協力や店舗での廃棄ロス削減、宅配のコープステーション(商品の受け取り場所)での常設型フードライブ実験などを行い、食品ロスの低減に努めています。



フードライブ

「環境・サステナビリティ政策」の策定

おかやまコープの環境政策における到達点と目標を整理して2022年に策定した「環境・サステナビリティ政策」に沿って、さまざまな取り組みをすすめています。



コープCSネットエコセンター (広島県尾道市)

Ⅳ 組合員と生協で働く誰もが生き生きと輝く生協

やりがいと成長が実感でき、主体的な組合員活動と未来へ展望が持てる健全な経営と魅力ある生協づくりに挑戦し続けます。

自主的にすすめる組合員活動

コープ委員会は小学校区単位を基本とした地区の中で、ともに教え合い・学び合う活動を自主的にイキイキとすすめています。



コープ委員会

組合員の声に 応える取り組み

組合員の想いや願いを受け止め、商品の改善やサービスの向上につなげています。



改善事例集「こんな声にお応えしました!」

好事例を共有する 取り組み

職員に対し仕事上での提案や工夫の好事例を表彰する「GOOD JOB大賞!」など、事例を共有し、今後に生かす取り組みを行っています。



「GOOD JOB大賞!」表彰のようす

子育てサポート企業に認定

「子育てサポート企業」として高水準の取り組みを継続していることが評価され、厚生労働大臣認定の「プラチナくるみん」マークを取得しています。



「プラチナくるみん」マーク

Ⅴ より多くの人々がつながる生協

私たちだけでは実現できないことを、つながる力で実現します。

コープフェスタ

地産地消・産直・食育などをテーマに生産者・メーカーや関係団体の方々と交流できるイベント「コープフェスタ」を開催しています。



コープフェスタ2023

地域で協同して 課題を解決

組合員と地域の方たちが一緒になって活動する「#あいコミュニティ」がスタート。子育てや福祉・環境・平和など多様なテーマでの活動が始まっています。



「おかやまコープ #あいコミュニティ」活動のようす

情報をメールで 発信

おかやまコープの事業・活動に関するニュースを、自治体・取引先・生産者の方々に毎月メールで広報しています。



情報発信「メールニュース」

物流の効率化を 追求

日本生協連とコープCSネットの物流共同事業として、岡山冷蔵流通センター(ORRC)が24年4月に開設されました。



岡山冷蔵流通センター (岡山市南区藤田)